

# ほけんぼり12月

平成30年12月 あおぞら保育園

秋も終わりに近づき、気温の低い日が続くようになりました。「寒い、寒い」と厚着になつていませんか？子どもの体温は、大人より高めです。厚着によって汗をかいした後、汗が冷えて風邪をひくことがあります。外に出て体を動かしたり、ポカポカと体が温まることで基礎体温が上がり、免疫力が高まります。丈夫な体作りをして健康に過ごしましょ。

早いもので今年、最後のほけんだよりとなりました。日頃より保護者の皆様には、ご理解ご協力を頂きありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。良いお年をお迎えください。

11月の感染症

感染症胃腸炎(下痢・嘔吐)	9名
はやり目	2名
突発性奔豚	1名

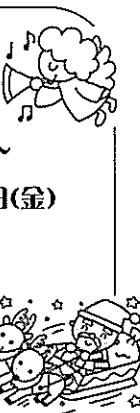
\*近隣の保育園でインフルエンザの発症がありました。予防接種はお済みですか？できるだけ人混みを避け、マスクの着用、手洗い・うがいをして予防しましょう。



12月の保健行事

0歳児健診 6日(木)14:30~  
身体測定 10日(月)~14日

\* 今年度に受けた予防接種がありましたら「じょうぶなからだ」に記載をお願い致します。



## \* \* 子どもの発達 ~乳児から幼児期の社会性について~ \* \*



- ・0・1歳児の育ちの中では「自分対大人」の関係が中心です。まずは大人から無条件に愛され、大人との愛着関係を築いていく大切な過程です。次第に「自分対玩具」へと興味が広がり、大人に見守られながら一人遊びを十分に楽しむ様になります。そして4・5歳児になると「自分対友だち」と社会性が飛躍的に発達します。様々な社会的な場面に応じたルールやマナーを理解し守るようになります。

★相手の意図や気持ちが想像できるようになり、友達と協力して物事を達成し、共感する。  
★年下の面倒を見たり、大人の手伝いを積極的にしたり、認められたいと感じるようになる。

➡ まだ、気持ちの波が大きく揺れ動く時期でもあります。場違いな行動をとったり、上手く振舞えなくとも心配ありませんが、常に公共の場での困った行動が目立つ、人の嫌がることを言って友達とのトラブルが絶えないという場合は社会性の発達やコミュニケーション力に心配な要素があるかもしれませんので観察していきましょう。



## ～感染性胃腸炎について～

〈園で嘔吐や下痢をした場合の保護者の方へ連絡するタイミングについて〉  
嘔吐した場合・・・基本的に1回目の嘔吐で保護者の方へお迎えをお願いしています。  
下痢した場合・・・基本的に2回目の下痢で保護者の方へお迎えをお願いしています。

※受診して「感染性胃腸炎」と診断された場合※  
登園基準は「嘔吐・下痢などの症状が治まり普段の食事がとれる」とです。  
嘔吐・下痢ともに最終の嘔吐・下痢から24時間は登園不可です。嘔吐・下痢から24時間経過し普段の食事がとれるようになったら、保護者にご記入いただく「登園届」を提出していただいて登園可となります。

## ～インフルエンザについて～

インフルエンザの疑いがある場合は、各医療機関によって検査できるタイミングが異なります（38℃以上になってから12時間以上経たないと検査できないなど。）一般的に発熱後、48時間以上経過すると薬効が期待できなくなってしまいます。

#### ※インフルエンザと診断された場合※

登園基準は「インフルエンザ発症後、5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで」です。基準を満たしたら保護者にご記入いただく「登園届」を提出していただいて登園可となります。